

窓周りの暴風対策あれこれ

近年、台風などの暴風が激化傾向で、毎年のように災害が発生しています。住まいでは、特に窓周りの対策が重要です。今回は、DIYで出来るものから本格的な工事が必要なものまで、窓周りの暴風対策についてご説明したいと思います。

窓ガラスをテープなどで養生する

費用の目安 0～数千円

お手軽度



割れたときの飛散を押さえるためにガラスにテープを貼る場合は、ガムテープだと剥すのが大変なので、養生テープがお勧めです。出来れば外側に貼りましょう。段ボールなどをガラスに貼るのも有効で、外側に貼れば飛来物からガラスを守り、内側なら割れた時の飛散防止になります。ただし、外側だと濡れて破れたり風で飛ばされる可能性もありますので、プラスチック段ボールなどがより適しています。

面格子や目隠しルーバーを設置

費用の目安 1～5万円

お手軽度

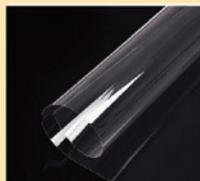


既存の窓の外側に面格子や目隠しルーバーなどを設置すると、飛来物から窓を守る効果があります。平時には防犯の役にも役立ちますが、掃き出しなどの大きな窓には付けられません。外側に開く滑り出し窓などでは、サッシの開閉に支障が出る場合もありますので、ご注意ください。

ガラスに飛散防止フィルムを貼る

費用の目安 数千円～10万円

お手軽度



窓ガラスに飛散防止フィルムを貼ると、割れた時の飛散を押さえ、ケガをするリスクを減らせます。資材は手軽に手に入りますが、ものによって性能差がありますので、ご注意ください。違和感なく仕上げたいならば、プロに依頼することをお勧めします。なお、網入りガラスにはフィルムは貼れません。

防災安全複層ガラスへ交換

費用の目安 5～20万円

お手軽度



ガラスを防災安全複層ガラスへ交換すると、飛来物が当たっても割れにくく、または割れてもほとんど飛散しないようになります。防犯にも役立ちますが、サッシによっては適応しないものもありますので、専門業者に相談してください。

後付け雨戸、後付けシャッターを取り付ける

費用の目安 10～50万円

お手軽度



既存の窓に後付けで雨戸やシャッターを取り付けることが出来ます。耐風、断熱、電動(シャッターのみ)などの様々なタイプの資材が流通していて、数時間から数日程度で取付けできます。ただし、窓の周りに取付けが可能な余白が必要で、位置によっては足場などの設置が必要となる場合もあります。

窓サッシを交換

費用の目安 20～100万円

お手軽度



窓そのものを雨戸一体サッシ、又はシャッターサッシに交換する。ガラスやサッシの性能も向上し、必要に応じて大きさなども変えられますが、工事は大掛かりになります。足場の設置や外壁、内壁の補修が必要となる場合があり、工事に数日から数週間かかります。雨戸やシャッター付でなければカバー工法も選べ、玄関ドアなどもカバー工法で1日で防犯性の高いものへ交換できます。